

市民病院特集

問合 市民病院管理課管理G
☎28-5151 内線2203

その腰 『圧迫骨折』

腰の痛みの原因には様々なものがありますが、その原因の一つとして圧迫骨折があります。ご高齢の方に特に多い病気で、早めに対処せず、気付かずに放置すると様々な支障をきたす可能性があります。

今回は、圧迫骨折について知識を深めましょう。

—圧迫骨折とは—

加齢により骨がスカスカになり(骨粗しょう症といいます)、せぼねの椎体という骨が骨折してしまい、押しつぶされるように変形してしまうものです。



—圧迫骨折のきっかけ—

転倒による尻もちなどはもちろんですが、くしゃみや重いものを不用意に持ち上げたり、体をひねったり、ちょっとしたきっかけで骨折することもあります。中にはきっかけが思い当たらない方もみえます。

—圧迫骨折の症状—

多くの方は背中や腰に激しい痛みを感じます。痛みは安静にしていることにより徐々に治っていくこともありますが、骨折によるせぼねの変形は残存してしまいます。

—圧迫骨折が及ぼす影響—

圧迫骨折をそのまま放置していると、骨のつぶれ方がひどくなり背中が丸くなります。背中が丸くなると、胸が圧迫されるため、肺活量が低下し、からだ全体の機能が低下してしまいます。また、胃も圧迫されてしまい食欲も低下し、痛みが続いてよく眠れない日が続くと、気分がふさがちになり、日常生活の活動性が低下し、さらに骨がもろくなり、太ももや腕なども含めて、他の骨折が起こりやすくなってしまいます。こうした悪循環により、最終的には寝たきりの生活になる危険性が高くなってしまいます。

—日常生活に及ぼす影響—

